

坂戸市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）  
市民コメント結果について

資料4-2

1件（1名）

No.	頁	項目	意見・要望	対応とその考え方
1	14	(7) 市民	<p>新型コロナに対して医療面ではワクチン開発という目を見張るばかりの進歩がありました。一方、伝統的対策（個人レベルでの感染対策）に関する行政等からの推奨は極めて希薄な内容であったと思います。</p> <p>日本には健康維持のために継承されている伝統的対策があります。`自分の身は自分で守る、には医療に加え伝統的対策を疎かにすることはできません。</p> <p>伝統的対策はその効果に個人差があり、また方法として確立されているとも言い切れず、試行錯誤の部分があります。しかし、試行錯誤があるからこそ環境や時代の変化にも耐え、今日にまで継承されているのだと思います。新型コロナに対しても伝統的対策を磨く機会であったはずですが、ないがしろにされてきたように思われます。</p> <p>私はウィルスに敏感で、インフルエンザなどにかかりやすい体質です。母親からは「うがい」を習慣づけられましたが、自分なりに試行錯誤を重ね、辿り着いたウィルス対策は「鼻孔・喉元の塩水消毒」「塩水うがい」「食薬」です。私はワクチン接種なしで新型コロナを乗り切ることができましたが、これらの対策が功を奏していること大なりと確信しています。</p> <p>行動計画には個人が行っている伝統的対策を調査把握し、整理し、公開することを盛り込んでいただくことを切に望むものです。</p>	<p>感染症対策として、市民一人ひとりが、「うがい」を含めた基本的な感染対策を実施していただくことが重要と考えております。</p> <p>23ページ 第3部 第2章 情報提供・共有、リスクコミュニケーションに記載しておりますとおり、皆さまにわかりやすく実践していただきやすい情報提供を行うことができるよう、伝統的対策に限らず様々な対策方法の把握に努めさせていただきます。</p>